

会派行政調査報告

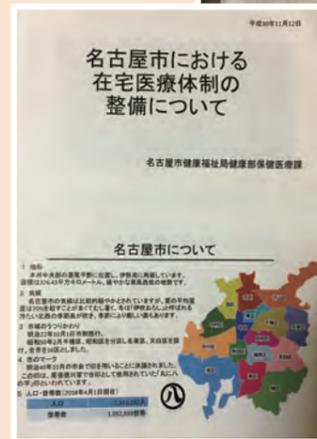
11月12日、13日に会派「立憲民主党と無所属の会」で行政調査に行ってきました。

11月12日 名古屋市 待機医師の取り組みについて

名古屋市では、高齢者等が自宅で診療を受ける「在宅医療体制の整備事業」として、平成30年7月から24時間態勢で医師が待機する取り組みを開始した。本市においても、急速に進む超高齢社会に対応する施策が必要とされていることから、本取り組みについて調査しました。



▲名古屋市



▲名古屋市資料

11月13日 神戸市 ママフレアプリ『子育てタウン』について



▲神戸市(神戸駅)

▲神戸市資料

神戸市では、子育て情報に特化したアプリ「ママフレアプリ『子育てタウン』」の配信を開始し、「子育てを応援するまち」をアピールしている。本市の子育て支援策としてさまざまな施策が展開されているが、スマホ世代に対応した取り組みとして調査をしました。



▲神戸市役所

お知らせ

私は3月定例議会で所属会派「立憲民主党と無所属の会」の代表質問に登壇いたします。お時間がございましたら、是非傍聴にいらしてください。また、インターネットによるライブ中継や録画配信もされますので、ご覧になってください。3月定例議会は2月21日開会、3月18日閉会の予定です。詳しい日程については、議会事務局または私までお問い合わせいただくか、議会ホームページをご覧ください。

市議会議員 ごとう孝江

連絡先

●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号
TEL・FAX 048-966-5088

●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷 3-3-26
TEL・FAX 048-964-3243

ホームページのアドレスは
<http://takeae510.jp>



越谷市議会議員 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号

ごとう孝江

活動報告 2019年冬 ● 第69号

しんじりますー!

ぬくもりある越谷を



皆様お揃いで良いお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、西日本豪雨、台風、北海道胆振東部地震など、自然災害の多い一年でした。そして、新年早々に熊本県を震源地とする地震に驚かされました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、寒暖の差が激しい今冬ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、毎年恒例の元旦マラソンが仕事始めとなり、議員活動、地域活動にと精力的な毎日を過ごしています。

昨年越谷市は市政施行60周年を迎え、今年は新たなスタートの年と考えます。また、「中核市越



▲干支「亥」の木目込み ごとう孝江作

谷」は埼玉県南東部地域のリーダー的存在を発揮していくことが期待されていると存じます。今後、市民サービスのさらなる拡充とともに議員の役割や責任は一層大きくなると思います。私は真心のこもった市民サービスの提供と市民満足度アップを目指して全力で活動をしてまいります。今春には任期満了を迎えますが、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、お健やかで幸多き年でありませう、心よりお祈り申し上げます。



▲元旦マラソン会場にて 高橋市長、山本まさの県議とともに



元旦マラソン会場(越谷市総合体育館)にて ▶

議会報告

12月定例議会

平成30年12月定例議会は、12月3日に開会し、市長提出議案22件、委員会提出議案1件が上程され、すべて同意、認定、可決されて12月20日に閉会しました。

主な議案

- 越谷市教育委員会教育長の任命について
吉田 茂氏
- 越谷市教育委員会委員の任命について
渡辺律子氏
- 人権擁護委員候補者の推薦について
九ノ里幸子氏、渡邊満明氏
- 越谷市教育委員会委員定数条例制定について
定数を5名とする

<補正の主な内容>

*障がい者自立支援医療給付費	8,400万円
*こども医療給付費	3億円
*地域型保育給付費	3億3,000万円
*がん検診等事業	1億4,000万円
*予防接種事業	1億4,000万円
*その他学校教育指導費	
集団宿泊行事奨励臨時補助金	4,000万円

- 越谷市幼稚園型認定こども園、保育所型認定こども園及び地方裁量型認定こども園の認定の要件を定める条例制定について

※就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部が改正され、認定に係る事務・権限が、都道府県から中核市へ移譲されることに伴い、認定の要件（職員の配置基準、施設設備の基準等）を定めるもの。

平成31年4月1日から施行

- 平成30年度補正予算について

一般会計	16億6,000万円
特別会計	13億7,500万円
補正後の総額	1,831億7,043万7000円

- *本庁舎建設事業に係る継続費について

総額（平成30～35年度【2018年度～2023年度】）	81億3,000万円
------------------------------	------------

- ・新本庁舎建設【2019・2020年度】
62億9,300万円
- ・現本庁舎解体【2021年度】
7億2,100万円
- ・（仮称）市民協働ゾーン建設【2022・2023年度】
10億3,300万円
- ・工事監理委託【2018年度～2023年度】
8,300万円



平成31年度予算要望書提出

昨年11月5日、私の所属する「立憲民主党と無所属の会」は平成31年度の予算編成にあたり、市長に予算要望書を提出しました。

昨今の自然災害の状況から、引き続き治水対策や災害対策、危機管理体制の充実に取り組む必要があります。また、現在進行している市役所本庁舎の建設や、少子・超高齢社会の課題等々を鑑み、且つ財政基盤の安定を図って、社会情勢に柔軟に対応することが重要です。

以上のことから、

1. 子育て・福祉（医療・保健・介護等）の充実
2. 産業支援と雇用の充実
3. 環境政策、自然保護の充実
4. 防災、都市基盤整備の充実
5. 学校教育、生涯学習の充実
6. 市民参加の促進
7. 行政改革の推進

について33項目の予算要望と併せ、長期・継続要望24項目を検討し、反映していただけるよう説明をして要望

いたしました。

また、私からは「あだたら高原少年自然の家」の利用休止に伴う中学校のスキー教室の保護者負担に対する12月補正予算における早急な対応を強く要望しました。

（3頁12月補正予算を参照）



▲予算要望書提出

越谷市消防団 総務大臣感謝状を受賞!!

昨年12月20日、学生機能別団員の取り組みが高い評価を受けて、学生団員の増加数が大きい消防団として、総務大臣から越谷市消防団に感謝状が贈呈されました。

感謝状の受賞おめでとうございます。越谷市消防団の皆様の安全と安心のための日頃からの活動に、改めて感謝と敬意を表します。

私は災害時における災害ボランティアの取り組みの必要性について議会で質問をしてきました。ボランティアの人材の確保、取り分けコーディネーターの養成は重要です。今後、学生機能別団員の活動をきっかけに、災害

ボランティアの取り組みが強化されるよう、私も努力をしてみたいと思います。

「学生機能別団員」とは

消防団員の確保と組織の更なる充実強化のために平成30年4月に設置された。大規模災害時における避難所運営の補助などの特定活動を任務とする。市内の大学の学生を中心に27人が活動している。